

第2学年3組 国語科 学習指導案

単元名：思いと思いをつなぐ手紙

教材文「ありがとう」をつたえよう

男子 17名 女子 14名 計 31名

指導者 田村 瞳

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説国語科第1学年及び第2学年、「B書くこと」の指導事項（1）「イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。」「エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いなどに気付き、正すこと。」の内容を受けて設定したものである。

本単元では、学習指導要領の「B書くこと」の言語活動例（2）「オ 伝えたいことを簡単な手紙に書くこと。」を基に、1学期の生活科「どきどきわくわく町探検」の学習で交流した障害者支援施設ユキ園の人や、家族・友達などの身近な人へ手紙を書き、手紙のやり取りをする言語活動を位置付ける。

手紙は、自分の思いを自分の言葉で相手に伝えたり、もらった手紙を何度も読み返したりして、返事をもらいやり取りを楽しむことができるよさがある。本単元ではユキ園の人や、家族、友達など身近な人に自分の思いを伝える手紙を書く活動を通して、文章としての手紙に必要な構成を学び、観点に基づいて手紙を交流することを通して、手紙を読み直す習慣を身に付けさせることをねらいとしている。また、手紙を書いたりもらったりする活動を行うことで、思いを相手と伝え合う楽しさや喜びを感じることができると考えられる。

○ 児童観

本学年の児童は、今年度の海田町学力調査において、「書くこと」の領域では聞かれていることとその理由を条件に合わせて文章に書く問題の通過率が66.3%（全国77.1%）と全国平均を下回っていた。学力調査では時間の順序や事柄の順序を読み取り、読み取ったことを基に自分の考えをもち、文章に書き表すことに課題があることが分かった。そこで1学期「こんなことがあったよ」の学習で、出来事や詳しい様子、気持ちなどをメモに書き出し、メモを基に伝えたい出来事や気持ちを文章に書く学習を行った。また、休みにあった出来事や、学校行事で感じたことなどを作文に書き、自分の思ったことを文章で表す機会を増やした。それらの学習を通して、出来事を詳しく書くことはできるようになったが、思いつくままに事実を並べた文章になってしまう児童がほとんどである。そのため、自分の伝えたい思いを明確にした上で簡単な構成を考え、文章を書く力を付けていくことが必要である。

○ 指導観

課題の設定では、まず動物たちが手紙のやり取りを通して自分の伝えたい出来事や思いを届けていく「おてがみもらった おへんじかいた」の絵本の読み聞かせを行う。読み聞かせの後、児童にだれにお手紙を書いてみたいか問いかけ、家族や友達などの様々な身近な人を想起させながら、手紙のやり取りをしてみたいという意欲を高めさせる。その中には、1学期の生活科の町探検で出会ったユキ園の人にも手紙を書きたいと願う児童が出てくると予想される。手紙を書く学習であるため、まずは、生活科の「もっとなかよしまちたんけん」でユキ園の人たちとの交流会に向けて練習している自分の思いを伝える手紙を書くことを通して、手紙の書き方を学び、その後身近な人にもその学びを生かして自分の思いを届ける手紙を書いていくという学習課題を設定する。常時活動では、一番身近な友達へ、学校生活の中で見つけた友達のよいところを手紙に書き、学級内に設置したキラキラポストへ投函して伝える活動を行う。手紙のやり取りの楽しさを知り、手紙に親しみを

もたせ、もっといろいろな人に手紙を書きたいという意欲を高める。そして教材文やモデル文から、手紙を書くために必要な「構成」(組み立て)、友達や家族、目上の人など相手に応じた「表現」の工夫、思いの伝わる「内容」について理解させる。

整理・分析の過程ではまず手紙の構成について学ばせる。「はじめ」にはあいさつ、「中」には伝えたい出来事や思い、「終わり」にはまとめの言葉がくるよう、構成メモに手紙に書きたい内容を整理させる。さらに交流する場面では、「構成(組み立て)」「表現」「内容」の観点で書いた手紙を分析する。その際、特に「内容」の部分を取り上げ、相手が伝えなかった気持ちについて考えて交流させ、手紙は伝えなかった思いが伝わるのが大切であることに気付かせる。

清書した手紙はユキ園の人に渡し、生活科の「もっとなかよしまちたんけん」でのユキ園の人との交流へとつなげていく。また、常時活動として思いを伝えたい相手に手紙を書いて送り、手紙のやり取りを続けていけるようにしていきたい。

単元の目標及び内容について

- 自分の思いを伝えるために、進んで手紙を書こうとする。 【関心・意欲・態度】
- 自分の思いが明確になるよう、事柄の順序に沿って簡単な手紙の構成を考えることができる。 【書くこと イ】
- 書いた手紙を読み返す習慣を付けるとともに、間違いに気付き正すことができる。 【書くこと エ】
- 言葉には、自分の思いを伝える働きがあることを理解して文章を書くことができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ (ア)】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 自分の思いを伝える手紙を書く。		
自分の思いを伝えるために、進んで手紙を書こうとしている。	自分の思いが明確になるよう、事柄の順序に沿って簡単な手紙の構成を考えている。 書いた手紙を読み返す習慣を付けるとともに、間違いに気付き正している。	手紙の文章には、思いを伝える言葉があることを理解して文章を書いている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・自分の思いを伝えるために、相手意識や目的意識を明確にして手紙を書こうとしている。	・自分の思いを伝えるために、進んで手紙を書こうとしている。
【思考力】	・自分の思いを伝えることのできる手紙の構成を、相手や目的に合わせて工夫して考えている。	・自分の思いを伝えることのできる手紙の構成について考えている。
【自己理解】	・手紙を書く活動を通して、自分の思いを人に伝える楽しさやよさに気付き、これからの生活につなげようとしている。	・手紙を書く活動を通して、自分の思いを人に伝える楽しさに気付いている。

指導と評価の計画

全8時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
一	1	課題の設定（1） ○手紙を題材にした『おてがみもらった おへんじかいた』の絵本の読み聞かせを聞き、手紙を書きたいという気持ちを高める。 ・手紙を題材にした絵本から手紙のよさについて考え、学習課題を立てる。 ・手紙を書いたりもらったりした経験を振り返り、手紙を書きたいという意欲をもつ。	○			・身近な人に手紙を書くことに興味をもち、手紙を書くことに取り組もうとしている。	行動観察 発言
		常時活動 ○学級であった友達のよかったところを手紙に書いてキラキラポストに出し、伝える活動を行う。					
二	2	情報の収集（2） ○手紙の特徴や書き方を知る。 ・教材文やモデル文を基に、手紙の構成や内容、表現（言葉遣い）について考える。			○	・手紙の基本的な構成や内容、表現（言葉遣い）について理解している。	行動観察 発言
	3	○手紙を書きたい相手と内容を考える。 ・相手に伝えたい出来事や気持ちを、表に整理する。	○			・手紙を書きたい相手と、相手に応じた伝えたい内容について整理している。	行動観察 ワークシート
	4	整理・分析（2） ○手紙に書く内容を決め、手紙を書く。 ・ユキ園の人に伝えたい出来事や気持ちから、書く内容を選び、はじめ、中、終わりで構成メモを作り、手紙の下書きをする。		○		・手紙の簡単な構成を考え、手紙に必要な観点を意識しながら手紙を書いている。	ワークシート 行動観察
	5	○書いた手紙を交流する。 ・手紙を「構成（組み立て）」、「表現」、「内容」の観点に基づき交流し、ユキ園の人に思いが伝わる手紙になっているか考える。【本時】		○		・手紙に必要な観点を基に手紙を読み、間違いに気付くとともに、思いが伝わる手紙かどうか考えている。	行動観察 ワークシート
	6	まとめ・創造・表現（2） ○手紙を清書する。 ・見直ししたことを基に手紙を清書する。		○		・自分の思いを明確にしなが、手紙を清書している。	作品 行動観察
	7	○学んだことを生かして、自分の思いを伝えたい人にお手紙を書く。		○		・自分の思いが明確になるように、事柄の順序に沿って手紙を書いている。	作品 行動観察
		常時活動 ○学んだことを生かして、自分の思いを伝えたい人にお手紙を書く。					

次	時	学習内容	評価				
			関	書	言	評価規準	評価方法
二		生活科 「もっとなかよしまちたんけん」 ○ユキ園の人々と関わることを楽しみ、進んで交流する活動を行う。					
三	8	振り返り（１） 学びのモニタリング ○自らの学びや学び方を振り返る。 ・手紙を書く活動を通して、伝えたいことをメモにまとめたり話し合うことで、自己の見方や考え方の高まりに気付く。 ・伝えたいことが伝わる手紙になっているか自らの学びを振り返る。	○			・手紙を書く活動を通して、自分の思いを人に伝える楽しさについて考え、自らの学びや学び方を振り返っている。	発言 行動観察 ワークシート

本時の学習

（１）本時の目標

- 手紙を見直すために必要な観点に基づいて交流し、思いが伝わる手紙になっているか見直すことができる。

（２）本時の評価規準

- 手紙を3つの観点＜「構成（組み立て）」、「表現」,「内容」＞に基づき交流し、間違いに気付くとともに、手紙に書かれた思いを考えている。 **【書く能力】**

（３）本時の学習展開（5時間目／全8時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 本時の学習課題を確認する。 めあて _____ 手紙を読み合い、思いが伝わった手紙かどうか見直そう。	◇手紙に必要な3つの観点＜「構成（組み立て）」、「表現」,「内容」＞を想起し、思いが伝わる手紙になっているか交流し合うことを確認する。	
本時のゴールの見通し A：手紙に必要な3つの観点で手紙を見直し、伝えたい思いについて考え、友達の手紙のよいところを見つけている。 B：手紙に必要な3つの観点で手紙を見直し、伝えたい思いについて考えている。		
2 書いた手紙を交流する。 ○友達の手紙を読んで、見直しシートを使って3つの観点＜「構成（組み立て）」、「表現」,「内容」＞で見直そう。 ・「組み立て」のあて名と自分の名前がきちんと入っているな。 ・始めにあいさつが書いてあるな。	◇前時で自分の手紙を3つの観点で見直し、自分の伝えたい思いを明確にした見直しシートを持たせておく。 ◇モデル文を掲示し、どんな気持ちで伝わってくるかを考え伝えられるよう交流の仕方をおさえる。	

<p>学習活動</p> <p>○主な発問</p> <p>・予想される児童の反応</p> <p>□思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項</p> <p>★めざす児童の姿</p> <p>◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕</p> <p>(評価方法)</p> <p>◎本時で付けたい力</p>
<p>・「表現」の丁寧な言葉を使って書いているな。</p> <p>・「内容」の伝えたい出来事は手話を覚えていることかな。</p> <p>○伝えたい思いは何なのか考えよう。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>□思考の場の工夫 評価する</p> <p>手紙に必要な3つの観点(「組み立て」、「表現」、「内容」)でお互いの手紙を確認し合い、手紙で伝えようとしている思いについて考えている。</p> </div> <p>・ビリーブを手話を付けて歌えるようになってうれしい気持ちが伝わったよ。</p> <p>・ユキ園の人に手話でビリーブを歌うところを見てほしいことが伝わったよ。</p> <p>3 全体で交流する。</p> <p>○手紙を読み合い、友達の手紙からどんな思いが伝わってきたでしょう。</p> <p>・手話ができるようになって、ユキ園の人に見てほしい気持ちが伝わってきたよ。</p> <p>・頑張って練習してできるようになってきたことがうれしい気持ちが伝わったよ。</p> <p>4 本時の学習のまとめをする。</p>	<p>◇3つの観点を基に見直しシートで確認させる。「構成(組み立て)」、「表現」は確認のみにし、「内容」は出来事と思いで色別に線を引かせ、伝えたい思いが何なのか考えられるようにする。</p> <p>◆相手の思いが見付けにくい児童には、思いが書かれている言葉に観点を絞り、線を引くよう声かけをする。</p> <p>◇色別にひいた線を基に、手紙から伝わる思いを考え、ふきだしにまとめられるようにする。</p> <p>◇友達の思いが書かれた文章を、ICT機器を活用して実際に見せながら、思いを共有するとともに、友達の手紙のよいところも見付けて印をつけて紹介できるよう声かけをする。</p> <p>◇思いを伝える手紙にするには、「内容」に、伝えたい出来事と思いと相手が喜ぶ言葉を必ず入れることを確認する。</p> <p>◇交流して友達の伝えたい思いが考えられたかを振り返らせる。</p>	<p>◎手紙を3つの観点を基に交流し、間違いに気付くとともに、手紙に書かれた思いについて考えたことを書いている。〔書く能力〕(ワークシート・行動観察)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>私は友達の手紙を読んで、出来事と思いのところに線を引いて、赤線のところから思いを考えることができました。思いを伝えたら○○君の思いと一緒にだったのでうれしかったです。</p>		

(4) 板書計画

<p>まとめ</p> <p>〇 思いをつたえる手紙にするには、 〇 つたえたいできごと 〇 つたえたい気持ち 〇 よろこぶことば</p> <p>をかならず入れる。</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="895 165 1018 414"> <p>できごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手話をおぼえている。 ・ たくさんれんしゅうしている。 </td> <td data-bbox="1018 165 1161 414"> <p>思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ むずかしい。 ・ できるようになったいてうれしい。 </td> <td data-bbox="1161 165 1305 414"> <p>よろこぶことば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぜひ見てほしい。 ・ いつしよに活どうするのが楽しみ。 </td> </tr> </table>	<p>できごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手話をおぼえている。 ・ たくさんれんしゅうしている。 	<p>思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ むずかしい。 ・ できるようになったいてうれしい。 	<p>よろこぶことば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぜひ見てほしい。 ・ いつしよに活どうするのが楽しみ。 	<p>めあて</p> <p>「ありがとう」とつたえよう</p> <p>手紙を読みあい、思いがつたわる手紙かどうか見なおそう。</p> <p>A B</p> <p>つたえたい思い</p> <p>＋ともだちのよいところ</p>
<p>できごと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手話をおぼえている。 ・ たくさんれんしゅうしている。 	<p>思い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ むずかしい。 ・ できるようになったいてうれしい。 	<p>よろこぶことば</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぜひ見てほしい。 ・ いつしよに活どうするのが楽しみ。 			
<p>〇 手紙にひつようなこと</p> <p>くみ立て</p> <p>〇 あて名</p> <p>〇 はじめ (あいさつ)</p> <p>〇 中 (つたえたいこと)</p> <p>〇 おわり (まとめのことば)</p> <p>〇 じぶんの名前</p>			<p>ひようげん</p> <p>〇 ていねいなことばづかい</p> <p>〇 むけている字・まちがつて</p> <p>いる字</p>	<p>ないよう</p> <p>〇 つたえたいできごと</p> <p>〇 つたえたい気持ち</p> <p>〇 よろこぶことば</p>	

<参考> 「学びのモニタリング」

海田東小 学びのモニタリング

思いと思いをつなぐ手紙

「ありがとう」をつたえよう

③ ぶんきようして気づいたこと、思ったこと、これからやってみたいことなどを書きましよう

② 手紙を書くために必要な、「くみ立て」「ひようげん」「ないよう」について考えながら手紙を書くことができた。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1

① すすんで思いをつたえる手紙を書くことができた。

とても まあまあ あまり まったく

4 3 2 1